

- ①安全で安心して生活できる環境づくりをいかに図っていくか
- ②いつまでも住み続けたい厚岸町にするには何が必要か
- ③町民の福祉に対する意識をいかに高めていくか

この計画がめざす厚岸町の姿

本計画の上位計画にあたる『第5期厚岸町総合計画』の健康・保健・医療、福祉分野における施策の基本目標として『やさしさあふれ 健やかに 安心して暮らせるまちづくり』を掲げています。

第2期厚岸町地域福祉計画では、この考え方をこれからの福祉の共通理念とし、計画の基本理念として設定していました。本計画においても、その基本理念を踏襲し、基本理念を実現するために、3つの基本目標を掲げます。

各基本目標には、今後3～5年の間に重点的・優先的に取り組む全町的なプロジェクトとして、『重点プロジェクト』を設定します。
以下、各基本目標ごとの具体的な取り組みをお知らせします。



【基本理念】

やさしさあふれ 健やかに
安心して暮らせるまちづくり

- 基本目標1 人にやさしい福祉のまちづくり
- 基本目標2 いつまでも住み慣れた地域で暮らせるしくみづくり
- 基本目標3 とともに支えあうまちづくり

基本目標

1 人にやさしい福祉のまちづくり

1 安心・安全のまちづくり

(1) 緊急時・災害時の支援体制

- ▽あいさつや声かけの継続により、住民同士のコミュニケーションを深めましょう
- ▽要支援者の把握を日常的に進め、関係機関との連携体制の構築を図ります
- ▽緊急時や災害時における支援体制づくりや取り組みの充実を図ります

(2) 防犯対策の推進

- ▽住民一人一人が防犯に対する意識を高めましょう
- ▽地域の住民や関係機関との連携による防犯ネットワークの強化を図ります
- ▽防犯知識の普及、各種相談体制の整備など、支援体制の充実に努めます

2 地域生活を支えるしくみづくり

(1) 関係機関の連携・支援体制づくり

- ▽町をはじめ関係機関の相互連携を図り、総合的なケアマネジメント機能をさらに充実させます

(2) 見守り・支援の体制づくり

- ▽民生委員・児童委員や自治会等による見守り活動を広げ、地域のさまざまな課題に対応します
- ▽日頃から助けあいや支えあいが地域で展開されるよう、地域住民が支援者となる環境づくりを進めます

(3) 厚岸の宝である子どもをみんなで育てる体制づくり

- ▽子どもの見守りや子育て家庭の孤立防止など、地域ぐるみでの子育て体制を構築します

3 生活環境・都市基盤の整備や有効活用

(1) バリアフリー化の推進

- ▽誰もが安心して外出・移動できるようバリアフリー化の推進に努めます

(2) 移動手段の確保

- ▽外出支援サービスや患者輸送バスなどのサービスの充実を図ります
- ▽外出に心配がなく安心して楽しく暮らせる地域づくりをめざします

重点プロジェクト
『普段の生活から災害時にも強い「コミュニティペル」』



第3期厚岸町地域福祉計画を策定しました

町では、地域福祉のより一層の推進を図ることを目的に、身近な生活課題の解決に向けた仕組みを構築することをめざし、その方向性を明らかにするため、平成28年度から平成32年度までの5年間の計画期間とする『第3期厚岸町地域福祉計画』を策定しました。

『地域福祉計画』とは

社会福祉法に基づき、地域福祉の推進に取り組むための総括的な計画として、市町村が策定する計画です。『地域福祉』とは、誰もが住み慣れた地域で安心して自立した生活ができるよう、地域住民と行政と民間事業者とが力を合わせて取り組むまちづくりのことです。

また、福祉とは「ふ」だんの「く」らしの「し」あわせを考える、とも言われています。

この計画は、健康・子ども・高齢者・障がい等の各種計画や、厚岸町社会福祉協議会が中心となって策定する『厚岸町地域福祉実施計画』と連携しています。

自助、共助、公助の考えを基に、みんなでつくり、みんなで進める計画です。



町民の声から見た課題

計画を策定するにあたり、アンケートの実施、厚岸町保健・医療・福祉総合サービス調整推進委員会の開催、地域福祉懇談会ワークショップの開催、パブリックコメントを実施し、厚岸町の良い点・悪い点等が明らかになりました。

また、第2期地域福祉計画の検証も行い、27ある指標のうち80%以上達成している指標が14指標と約半数を占めていますが、50%未満および未達成のものも5指標ありました。

これらの結果等を踏まえて、第3期地域福祉計画策定に向けた課題を次のとおり整理しました。

自治会等を中心に、地域で助け合い、支え合います

共助

自助

公助

自分でできることは自分で取り組みます

個人や地域だけではできないことに取り組みます

地域福祉の
原則的な考え方